

平成 26 年度  
**安曇野検定**

～未来につなぐふるさと安曇野～

---

---

**問題用紙**

**一般の部【基礎編】**

**検定時間 60 分間**

- ◎指示があるまでは、この問題用紙を開かないでください。
- ◎試験開始までに、次の注意事項をご確認ください。
- 解答用紙に、受検番号・氏名を記入してください。
  - 問題は、全部で 50 問です。
  - 解答は、すべて四者択一式です。解答用紙の所定の欄の番号をはっきりとわかるように○で囲んでください。（複数記入は無効です。）
  - 鉛筆又はシャープペンで記入してください。
  - 訂正する場合は、消しゴムできれいに消して、書き直してください。
  - 問題用紙に落丁・乱丁・印刷不鮮明などがある場合は、係員に申し出てください。
  - 試験開始後、30 分～50 分までは退出を認めます。
- ◎35 問以上の正解で合格です。結果については、2 月 2 0 日(金)以降に受検者本人宛てに通知します。
- ◎この問題用紙はお持ち帰りください。

平成 27 年 1 月 25 日  
安曇野市教育委員会



### 第1問

今年（平成27年）は、5町村の合併により安曇野市が誕生してから丸10年になる年です。合併したのは平成17年の何月何日でしょうか。

- ① 4月1日                      ② 6月1日                      ③ 10月1日                      ④ 1月1日

### 第2問

安曇野市は6つの自治体に接しています。次の自治体のうち、安曇野市に接していない自治体はどれでしょうか。

- ① 大町市                      ② 池田町                      ③ 筑北村                      ④ 麻績村

### 第3問

右の写真の建物は、「ビレッジ安曇野」という宿泊施設を兼ねた農林漁業体験実習館で、昭和62年（1987）に豊科地域に開業しました。この宿泊施設の外観は、安曇野市をはじめ中信地方で特有のある民家形式を参考にしています。その民家形式はどれでしょうか。



- ① 合掌造                      ② 入母屋造  
③ 本棟造                      ④ 寄棟造

### 第4問

次に挙げる4つの施設はいずれも安曇野市内にあります。このうち穂高地域にあるのはどれでしょうか。

- ① 飯沼飛行士記念館                      ② 安曇野市天蚕センター  
③ 貞享義民記念館<sup>じょうきょうぎみん</sup>                      ④ 自然体験交流センター せせらぎ

### 第5問

三郷地域の「三」は、三郷村として合併する前の3つの村を表しています。その村は、小倉村と明盛村と、あともう1つは何という村でしょうか。

- ① 温村<sup>ゆたか</sup>                      ② 七貴村<sup>ななき</sup>                      ③ 有明村                      ④ 高家村<sup>たきべ</sup>

### 第6問

国営アルプスあづみの公園（堀金・穂高地区）では、5月頃、マメ科の植物クララを食草とする貴重なチョウを見ることができます。それは何というチョウでしょうか。

- ① アゲハチョウ                      ② アサギマダラ                      ③ モンキチョウ                      ④ オオルリシジミ

## 第7問

旧明科町の下水道マンホールの蓋にはニジマスともう1つ明科地域を象徴する植物が描かれています。それは何でしょうか。

- ① ワサビ                      ② アヤメ                      ③ カタクリ                      ④ リンゴ

## 第8問

旧豊科町がガラスを地域の文化的産業とするために、「あづみ野ガラス工房」を開設する際、視察に訪れたことが縁で、姉妹都市提携を結んだヨーロッパの町クラムザッハはどの国にあるでしょうか。

- ① オーストリア              ② チェコ                      ③ オランダ                      ④ ベルギー

## 第9問

次の行祭事のうち、穂高神社で開催されていないものはどれでしょうか。

- ① おびしゃ 奉射祭                      ② 信州安曇野たきぎのう薪能              ③ 安曇野かみあかり神竹灯              ④ 節分祭

## 第10問

安曇野市で最も高い山の標高は2,922mあります。その山は次のうちどれでしょうか。

- ① つばくろだけ 燕岳                      ② 有明山                      ③ おてんしょうだけ 大天井岳                      ④ 常念岳

## 第11問

安曇野市は松本盆地周辺の山々を源とする河川が四方八方から集まる場所にあり、市内各所で河川が合流しています。そのうち、豊科、穂高、明科の3地域の境界が交わるあたり一帯は3つの川が合流することから「三川合流部」と呼ばれています。その「三川」とは、犀川と穂高川ともう1つはどれでしょうか。

- ① 高瀬川                      ② 黒沢川                      ③ 梓川                      ④ 会田川

## 第12問

次に挙げる安曇野市内を流れるせき堰のうち、江戸時代に開削された市内最大規模の用水路で、日本の疏水百選にも選定されているのはどれでしょうか。

- ① りゅうだせき 立田堰                      ② しんでんせき 新田堰                      ③ ぬるせき 温堰                      ④ じっかせき 拾ヶ堰

## 第13問

安曇野市内では、現在約400箇所の遺跡が確認されています。安曇野市内にある次の遺跡のうち、国営アルプスあづみの公園内でその一部の発掘調査が行われている古墳時代の遺跡はどれでしょうか。

- ① 東小倉遺跡      ② 穂高古墳群      ③ 矢原遺跡群      ④ 町田遺跡

## 第14問

安曇野市内にある神社仏閣の名称と場所（地域）の組み合わせとして、間違っているものはどれでしょうか。

- ① 法蔵寺・豊科地域      ② 有明山神社・穂高地域  
③ 住吉神社・堀金地域      ④ 宗林寺・明科地域

## 第15問

道祖神は、疫病退散、五穀豊穰、家内安全、子孫繁栄、縁結びなどを祈願する身近な守り神で、安曇野市内には約600体の道祖神があるといわれています。道祖神には様々な姿かたちがありますが、県内でも珍しい、2体が接吻をしている右の写真の道祖神はどの地域にあるでしょうか。



- ① 穂高地域      ② 三郷地域  
③ 堀金地域      ④ 明科地域

## 第16問

堀金地域には、江戸時代の天和～貞享年間（1681～1688）につくられた庭園で、県の名勝に指定されている名園があります。その庭があるお屋敷の名前は何かというのでしょうか。

- ① 曾根原家住宅      ② 本陣等々力家  
③ 大庄屋山口家      ④ 旧高橋家住宅

## 第17問

明科地域にある長野県水産試験場で開発された新品種の魚で、平成16年（2004）から養殖が認められ、現在の安曇野市の特産品になっているこの魚の名前は何かというのでしょうか。ちなみに、市内でこの魚を用いた料理を提供するお店は、オレンジ色の旗が目印です。

- ① 信州サーモン      ② 明科サーモン      ③ 信州ニジマス      ④ 信濃大マス

## 第18問

安曇野市でも用いられる方言の1つで、「めちゃくちゃ、悪いことが重なる状態」を意味する言葉はどれでしょうか。

- ① あいさ      ② ささらほうさら      ③ もだこと      ④ まてい

## 第19問

燕岳と槍ヶ岳を結ぶ「表銀座」と呼ばれる縦走コースには、現在、年間約10万人の登山客が訪れています。このコースを息子と二人で開拓した穂高地域出身の人物は誰でしょうか。

- ① 多田加助                      ② 小林喜作                      ③ 田淵行男                      ④ 荻原守衛(碌山)

## 第20問

安曇野市名誉市民で、明科地域出身の能楽師といえば誰でしょうか。

- ① 田淵行男                      ② 熊井啓                      ③ 高橋節郎                      ④ 青木祥二郎

## 第21問

安曇野地域の人口に関する記述として、適切でないものはどれでしょうか。

- ① 昭和20年代から昭和40年代前半にかけては人口が少しずつ減っていった  
② 昭和30年代には8万人を超えていた  
③ 昭和40年代中頃から人口が増え始めた  
④ 平成17年以降は、人口増が以前よりも鈍化し、近年は減少の傾向にある

## 第22問

昭和40年（1965年）頃から、穂高地域の西側の山麓に広がる森林の中に、主に都会に住む大学教授や医師、作家らが利用するための別荘地が開発され始めました。この別荘地を何というでしょうか。

- ① 学者村                      ② 教授村                      ③ 保養村                      ④ 休暇村

## 第23問

渡し船が河川対岸への交通の主流であった江戸時代に、田沢、光、塔ノ原、荻原荒井、小立野、小泉などの渡船場があった安曇野市内を流れる河川はどれでしょうか。

- ① 梓川                      ② 犀川                      ③ 烏川                      ④ 高瀬川

## 第24問

安曇野市内を通る2本の鉄道（JR篠ノ井線とJR大糸線）は、昭和の時代に入る前には既に開通し、現在、市内に11箇所ある駅もすべて開業していました。それらの駅のうち、JR大糸線の駅はいくつでしょうか。

- ① 7                      ② 8                      ③ 9                      ④ 10

第25問

江戸時代、松本と糸魚川を結ぶ千国街道（塩の道）が南北に通る安曇野市域には2つの宿場がありました。1つは穂高地域にあった保高宿ですが、豊科地域にあったもう1つの宿場の名前は何かというのでしょうか。

- ① 真々部宿
- ② 細萱宿
- ③ 下鳥羽宿
- ④ 成相新田宿

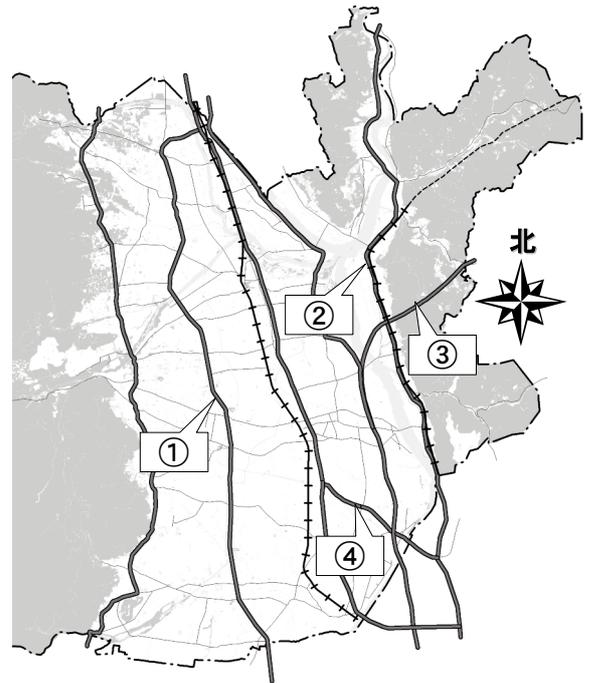
第26問

昭和56年（1981年）に、三郷地域から堀金地域を介して穂高地域まで結ぶ道路が全通しました。

その後、以前はほとんどが農地だったこの道沿いに、大型のスーパーやコンビニエンスストア、飲食店などの商業施設が数多くつくられてきました。

右の地図に番号で示す道路のうち、上記の道路に該当するのはどれでしょうか。

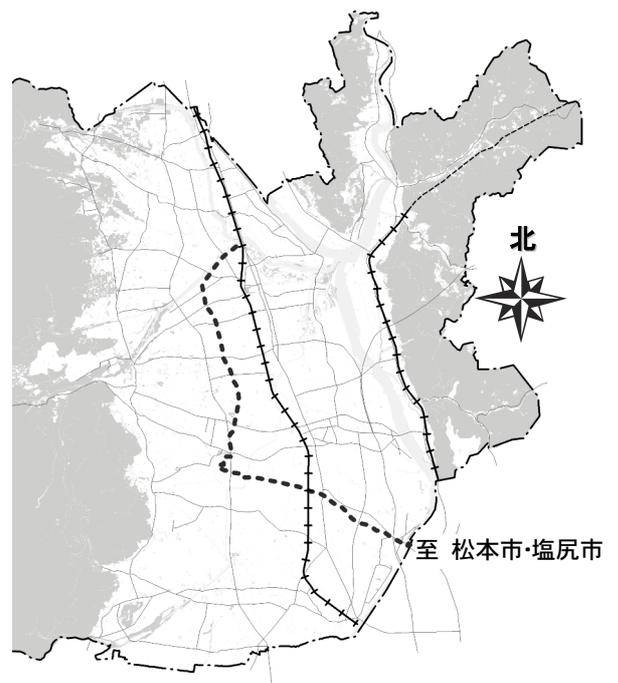
- ① 安曇広域農道
- ② 国道19号
- ③ 長野自動車道
- ④ 国道147号高家バイパス



第27問

右の地図の破線は、塩尻市から穂高地域まで約40kmの区間をつなぐ「あづみ野やまびこ自転車道」です。安曇野市内でこの自転車道は、何に沿って通っているのでしょうか。

- ① 黒沢川
- ② 拾ヶ堰
- ③ 万水川
- ④ 新田堰



## 第28問

安曇野市の交通に係る出来事として記述したA～Dを、年代の古い順に正しく並べたものはどれでしょうか。

- A：拾ヶ堰を利用した「拾ヶ堰通船」が開通した
- B：信濃鉄道（現 JR大糸線）が信濃大町駅まで開通した
- C：国道147号で穂高橋の南から除沢橋の北までの間のバイパス道路が整備された
- D：篠ノ井線（現 JR篠ノ井線）が全線開通した

- ① A→D→B→C
- ② B→A→D→C
- ③ A→B→D→C
- ④ A→B→C→D

## 第29問

安曇野市内にある公園の名前と、その公園のある地域の組み合わせが、適切でないものはどれでしょうか。

- ① 松尾寺山公園・穂高地域
- ② 龍門淵公園・明科地域
- ③ 室山アグリパーク・三郷地域
- ④ かじかの里公園・堀金地域

## 第30問

現在、安曇野市の水道水の水源は、ほぼ100%が地下水となっていますが、安曇野市の飲用水に係る出来事として間違っている記述はどれでしょうか。

- ① 比較的水の得やすい地域では、昭和30年代以前に、上水道や簡易水道の整備が進められていた
- ② 地下水位が低く、井戸を掘るのも容易でない地域では、明治～昭和初期は、河川や堰の流水を飲用水に利用していた
- ③ 昭和30年代の上水道の敷設工事には、配水路の敷設路の掘削に住民が協力し、ツルハシやスコップを使って工事が行われた
- ④ 光橋近くに「アクアピア安曇野」という上水道施設がつくられ、平成9年度（1997）に運用を開始した

第31問

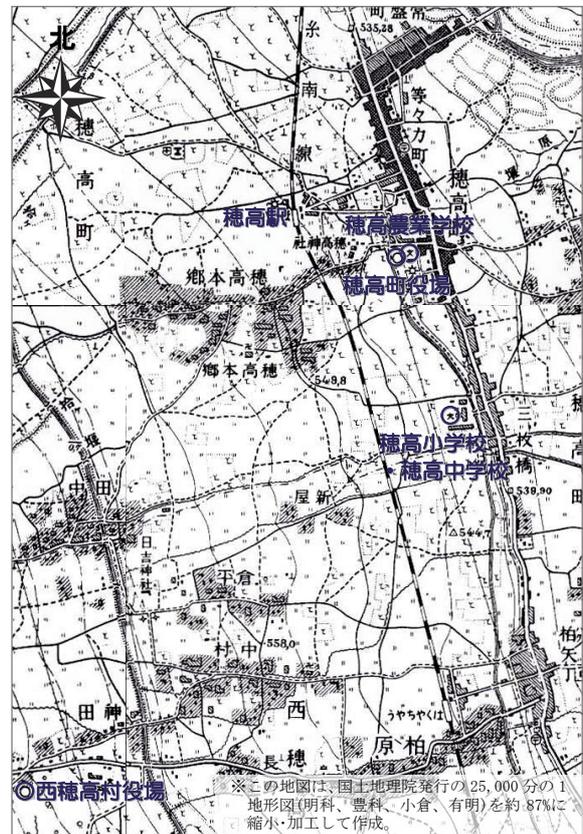
平成27年（2015）5月7日に開庁が予定されている安曇野市の新本庁舎の場所は、右の地図に示す①～④のうちどれでしょうか。



第32問

右の地図は、昭和22年（1947）の穂高地域の市街地およびその周辺部の範囲を切り取った地図です。この古い地図を見て、現在ある穂高交流学習センター「みらい」の場所の説明として適切なものはどれでしょうか。

- ① 穂高駅の西側のあたり
- ② 穂高町役場のあるあたり
- ③ 穂高小学校・穂高中学校のあるあたり
- ④ 西穂高村役場のあるあたり



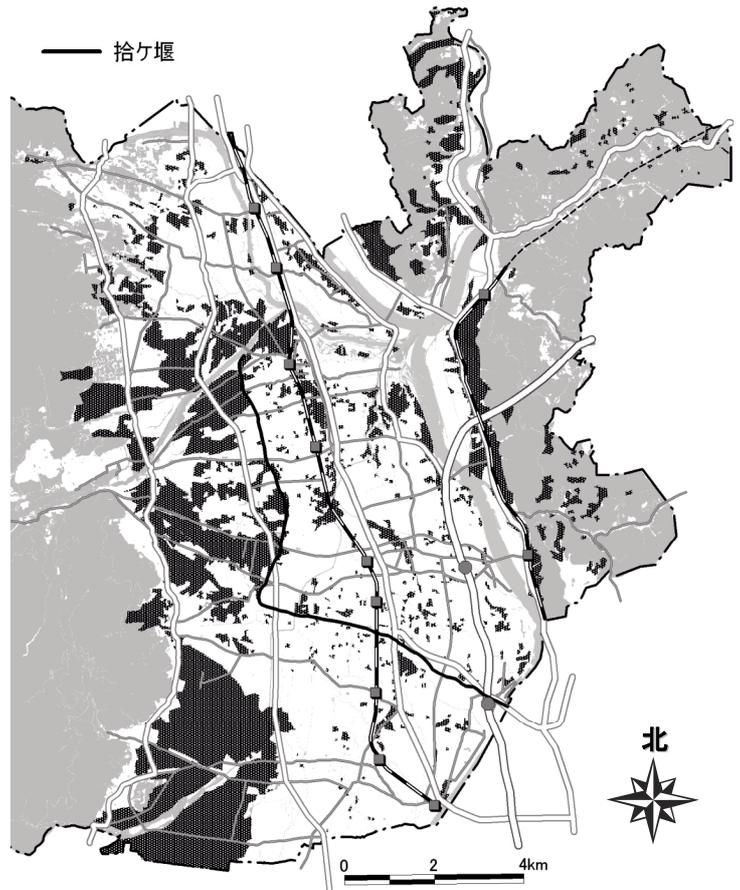
昭和22年（1947）の地図

第33問

右の地図で黒く塗りつぶしてあるのは、昭和初期まで、製糸業とともに日本の産業の主役で、特に長野県で盛んだった産業に関連する農地です。この農地の種類はどれでしょうか。

- ① 田
- ② 畑
- ③ 果樹園
- ④ 桑畑

※昭和22年(1947)の国土地理院発行の25,000分の1地形図を参照して、問題文にある農地のおおよその範囲をトレースして作成。



第34問

安曇野市は、三郷地域を中心にして、乳用牛、肉用牛、豚、採卵鶏が、いずれも県内トップ10に入るほど畜産業が盛んですが、2010年の世界農林業センサスの調査において、飼育数が飯田市に次いで、県内で2番目に多いのはどれでしょうか。

- ① 乳用牛
- ② 肉用牛
- ③ 豚
- ④ 採卵鶏

第35問

下の写真A～Dは、安曇野市を代表する農産物をつくっている農地の写真です。①～④のうち、写真とその農産物にちなんで名付けられたキャラクターの名前が、正しい組み合わせになっているものはどれでしょうか。



写真A



写真B



写真C



写真D

- |            |           |           |          |
|------------|-----------|-----------|----------|
| ① 写真A：わさび  | 写真B：らいすん  | 写真C：あぷふーる | 写真D：そばっぴ |
| ② 写真A：そばっぴ | 写真B：こむぎっち | 写真C：ももぼん  | 写真D：わさび  |
| ③ 写真A：そばっぴ | 写真B：らいすん  | 写真C：あぷふーる | 写真D：わさび  |
| ④ 写真A：わさび  | 写真B：こむぎっち | 写真C：ももぼん  | 写真D：そばっぴ |

第36問

様々な農産物を生産している安曇野市において、穂高いんげんとともに穂高地域のある地区名の名を冠して「信州の伝統野菜」に認定されている野菜の種類は何でしょうか。

- ① 大根                      ② 玉ねぎ                      ③ かぼちゃ                      ④ トマト

## 第37問

安曇野市の林業に関する出来事として記述したA～Dを、年代の古い順に正しく並べたものはどれでしょうか。

- A：エネルギー革命により、薪炭林における薪や木炭の生産が急激に落ち込んだ
- B：南安曇郡内の16の製材所を統制する会社として「南安木材株式会社」が設立された
- C：青木花見が松本領の木材の一大集積地だった
- D：木質ペレットを燃料とする「ペレットストーブ」と呼ばれる暖房器具が登場した

- ① A→B→C→D
- ② C→B→A→D
- ③ C→A→B→D
- ④ A→C→D→B

## 第38問

昭和10年代に犀川下流の千曲川（信濃川）に発電用ダムがつくられる前まで盛んに遡上し、犀川の支流で古くから漁の対象となっていた魚はどれでしょうか。

- ① ウグイ
- ② カジカ
- ③ サケ
- ④ アユ

## 第39問

安曇野市の工業に関する出来事として記述したA～Dを、年代の古い順に正しく並べたものはどれでしょうか。

- A：松本・諏訪地区が「新産業都市」に指定された
- B：中川手村（現在の明科地域）に国営の製材所がつくられた
- C：長野自動車道豊科IC（現 安曇野IC）が開設された
- D：地元で栽培した果物や野菜でワインやジュースなどを製造販売する工場がつくられた

- ① B→A→D→C
- ② D→B→C→A
- ③ A→B→C→D
- ④ B→D→A→C

第40問

下の写真①～④は、安曇野市内の各地域の沿道の商業の様子を写しています。これらの写真と地域の組み合わせとして間違っているものはどれでしょうか。



写真①



写真②



写真③



写真④

- ① 穂高地域      ② 三郷地域      ③ 堀金地域      ④ 豊科地域

第41問

日本の近代産業発展を支えた機械「ガラ紡績機」を発明した堀金地域出身の人物で、愛知県岡崎市の名誉市民になっているのは誰でしょうか。

- ① 藤森<sup>じゅへい</sup>寿平(桂谷)      ② 高橋節郎      ③ 熊井啓      ④ 臥雲<sup>がうんたち</sup>辰致

第42問

新宿中村屋を創業した穂高地域出身の相馬愛蔵とその妻・相馬黒光の半生を描いた昭和44年(1969)放映のドラマのタイトルはどれでしょうか。

- ① おひさま      ② あまちゃん      ③ パンとあこがれ      ④ 水色の時

## 第43問

江戸時代、松本藩内で発生した百姓一揆（貞享騒動）を顕彰する記念館である貞享義民記念館の最寄り駅はどれでしょうか。

- ① 一日市場駅      ② 中萱駅      ③ 穂高駅      ④ 田沢駅

## 第44問

道祖神祭りと共に安曇野を代表する代表的な祭りである「オフネ祭り」は、現在も市内全域の30余の神社で行われています。そのうちの1つで、お船が県下最大級の大きさといわれる三郷地域のオフネ祭りはどれでしょうか。

- ① 重柳八幡宮祭り舟      ② 穂高神社の御船祭り  
③ 潮神明宮の柴舟と人形飾り物      ④ 熊野神社のお船祭り

## 第45問

堀金地域出身の作家で、「安曇野」の呼び名を広める契機となった長編大河小説『安曇野』を著したのは誰でしょうか。

- ① 川端康成      ② 平林広人      ③ 井上靖      ④ 臼井吉見

## 第46問

安曇野市内では、4種類の特定外来植物が確認されています。次のうち、これに該当しないものはどれでしょうか。

- ① オオサクラソウ      ② アレチウリ  
③ オオハンゴンソウ      ④ オオカワヂシャ

## 第47問

4月中下旬に、その姿を見せ、春の安曇野を象徴する美しい種で、“春の女神”とも呼ばれ、カタクリやスマレなどの花を訪れるチョウはどれでしょうか。

- ① クロアゲハ      ② ヒメギフチョウ      ③ オオムラサキ      ④ オオヒカゲ

## 第48問

開業から昭和初期にかけて、安曇野特産のわさびなどを東京方面に出荷する貨物や買付けの行商人などで賑わい、その周辺に製材工場や製糸工場が進出した駅はどれでしょうか。

- ① 田沢駅                      ② 穂高駅                      ③ 一日市場駅                      ④ 明科駅

## 第49問

明治35年（1902）に開通した篠ノ井線の工事では、西条－明科間に大小5箇所のトンネルがあり、岩を削って谷を埋める難工事で、多数の犠牲者を出しました。このことを記した慰霊碑のある国道19号沿いにあるお寺はどれでしょうか。

- ① 松尾寺                      ② 平福寺                      ③ 龍門寺                      ④ 光久寺

## 第50問

右の写真は、穂高地域（新屋地区）にある建物で、大空間をつくるために様々な工夫が施され、特徴的な形をしています。昭和26年（1951）の建築で、近代化遺産の1つとして文化財になっていますが、いまなお現役で使われているこの建物の用途は何でしょうか。



- ① 公民館                      ② 郵便局  
③ 保育園                      ④ 民家